

核融合科学研究所運営会議人事委員会規則一部改正（案） 新旧対照表

旧	新
核融合科学研究所運営会議人事委員会規則	核融合科学研究所運営会議人事委員会規則
制 定 平成 1 6 年 7 月 1 3 日 規則第 2 1 号 最終改正 平成 2 8 年 9 月 9 日	制 定 平成 1 6 年 7 月 1 3 日 規則第 2 1 号 <u>最終改正 令和 4 年 月 日</u>
第 1 条 ～ 第 2 条 （略）	第 1 条 ～ 第 2 条 （略）
（組織）	（組織）
第 3 条 委員会は、運営会議が必要と認めるときに、その都度、次に掲げる委員をもって組織する。	第 3 条 委員会は、運営会議が必要と認めるときに、その都度、次に掲げる委員をもって組織する。
(1) 研究所内及び研究所外の運営会議委員各 2 名	(1) 研究所内及び研究所外の運営会議委員各 2 名
(2) <u>選考しようとする研究教育職員及び特任教員の所属する研究主幹又はセンター長</u>	(2) <u>運営会議ユニット等評価委員会委員のうち研究所内の委員 1 名</u>
2 委員会は、運営会議の議を経て、複数の教授、准教授、助教、助手及び特任教員の候補者の選考を同時に行うことができる。	2 委員会は、運営会議の議を経て、複数の教授、准教授、助教、助手及び特任教員の候補者の選考を同時に行うことができる。
3 運営会議は、必要と認めた場合、研究所内及び研究所外の運営会議委員それぞれ 1 名を限度として追加することができる。	3 運営会議は、必要と認めた場合、研究所内及び研究所外の運営会議委員それぞれ 1 名を限度として追加することができる。
（任期）	（任期）
第 4 条 前条の委員の任期は、当該候補者の選考（該当者なしも含む。）を終了し、その結果を運営会議に報告した日までとする。	第 4 条 前条の委員の任期は、当該候補者の選考（該当者なしも含む。）を終了し、その結果を運営会議に報告した日までとする。
2 前項の規定にかかわらず、運営会議委員、 <u>研究主幹又はセンター長の職を退いた場合は、委員を辞するものとする。</u>	2 前項の規定にかかわらず、運営会議委員、 <u>運営会議ユニット等評価委員会委員</u> の職を退いた場合は、委員を辞するものとする。
3 委員に欠員が生じた場合は、運営会議議長は速やかに運営会議に諮り、委員の補充（助教、助手及び特任助教の選考に関し、研究所内及び研究所外の運営会議委員各 1 名を含む 3 名以上の委員をもって構成されている場合を除く。）を行わなければならない。	3 委員に欠員が生じた場合は、運営会議議長は速やかに運営会議に諮り、委員の補充（助教、助手及び特任助教の選考に関し、研究所内及び研究所外の運営会議委員各 1 名を含む 3 名以上の委員をもって構成されている場合を除く。）を行わなければならない。

<p>4 委員が任務の遂行が困難であると委員長が判断したときは、運営会議議長に申し出ることとする。運営会議議長は、速やかに運営会議に諮り、委員の補充を行わなければならない。</p> <p>(委員長)</p> <p>第5条 委員会に委員長を置く。</p> <p>2 委員長は、第3条第1項第1号の研究所の運営会議委員のうちから運営会議で選出する。</p> <p>3 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員が議長となる。</p> <p>4 委員長が、運営会議委員の職を退いた場合は、第2項の規定により運営会議で選出する。</p> <p>第6条 ～ 第9条 (略)</p> <p>附 則 (略)</p>	<p>4 委員が任務の遂行が困難であると委員長が判断したときは、運営会議議長に申し出ることとする。運営会議議長は、速やかに運営会議に諮り、委員の補充を行わなければならない。</p> <p>(委員長)</p> <p>第5条 委員会に委員長を置く。</p> <p>2 委員長は、第3条第1項第1号の<u>委員のうち</u>研究所<u>内</u>の運営会議委員<u>又は同項第2号の委員</u>のうちから運営会議で選出する。</p> <p>3 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員が議長となる。</p> <p>4 委員長が、運営会議委員の職を退いた場合は、第2項の規定により運営会議で選出する。</p> <p>第6条 ～ 第9条 (略)</p> <p>附 則 (略)</p> <p><u>附 則</u></p> <p><u>この規則は、令和4年 月 日から施行する。</u></p>
--	---